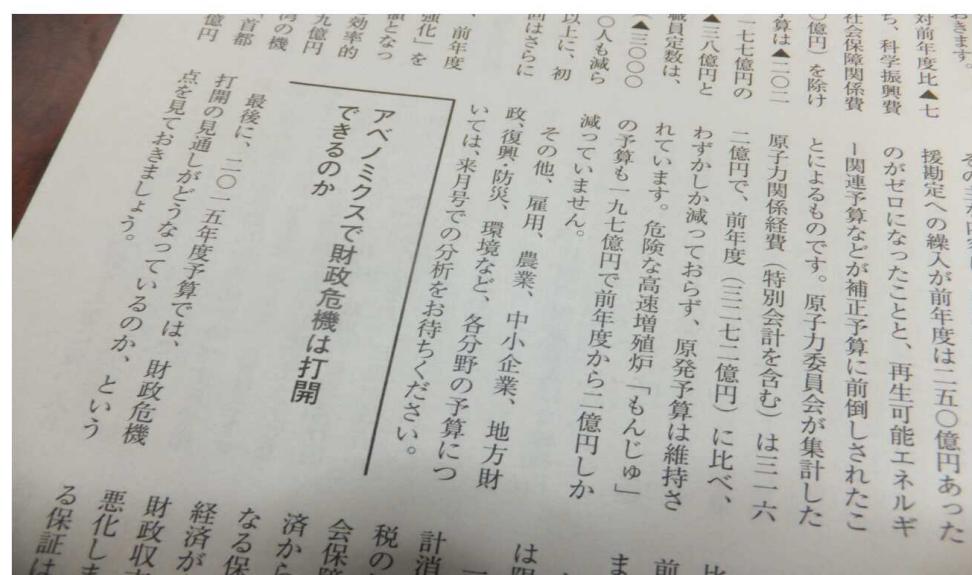


赤旗読者ニュース 北上かわら版

アベノミクス。地方創生



去年の9月に「まち・ひと・しごと創生法」「対策本部」が成立し、安倍内閣は同時に「対策本部」をつくり、年末に「長期ビジョン」「総合戦略」を発表しました。これは地方創生をアベノミクス「第3の矢」に昇格させ、自治体に「地方版総合戦略」を作らせ、地方を「活性化」させようとするものです。予算は1兆円を注ぎ込みます。

なぜいまにわざに「地方創生」か、「まち・ひと・しごと」とはなんでしょうか。これに関わる2015年度の国と北上市の予算を見ながら経済学者のコメントも交え、「かわら版」編集部が特集します。

アベノミクスを批判する経済誌 (資料)

2015年度 国と市の予算にみる地方創生

宮崎大学の入谷貴夫教授は「安倍首相は消費税10%を先延ばししました。これはアベノミクスの破綻を意味します。消費税を8%に引き上げてから国民消費は一気に冷え込みました」(住民と自治)と述べています。また、安倍首相がにわかに地方創生を出してきた背景には「いつせい地方選で地方の支持をつなぎとめたいという思惑がある」という指摘もあります。

いずれ、「アベノミクスはうまくいかず特に地方には『不評』であり、このままで選挙は戦えない」と睨んだ上での「地方創生」であることは誰でもうなづけます。

安倍内閣は、地方創生関連予算は前倒しする補正予算で3275億円、15年度予算で7225億円、計1兆500億円の予算枠を決定しています。この中には、すでに市補正予算にも組み込まれていますが、「先行型」として定住化促進やバス交通対策、子育て支援など地方の要求に応えるものもあります。

国際女性デーのつどい

北上平和記念展示館を訪ね 慰安婦問題の現状を知る

とき 3月8日(日)
午後1時30分~3時30分
ところ 藤根地区交流センター
(平和記念展示館隣接)

男性の参加も歓迎します。



主催: 新日本婦人の会北上支部 (電話 63-4654)

どうなる・どうする? 医療・介護⑥

これまで国の「医療・介護総合法」や安上がりサービスの問題、市の現状と課題、今後の計画づくり、そして介護保険料について見てきました。

今回は「地域包括ケアシステム」について見てみます。

ところどころでこの「地域包括ケアシステム」とはなんでしょうか。「地域で介護を考える?」。

クリストファー大学の太田貞司教授は、「地域包括ケアシステムは関係者でも言葉として知っていても、その背景、意図、課題についてはあまりよく理解されていない。これは社会保障費削減と地域づくりの二面があり、これを複眼的にみることが大切」と語っています。太田氏によると、この用語は2000年頃にでき、3年前、2012年の介護保険制度の見直しの際に構

築され推進されるようになつた(地域包括ケアシステム元年)といいます。

2014年に成立した「医療介護総合法案」には、地域包括ケアシステムについて次のように記されています。

「地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営

むことができるよう、医療、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制を」とあります。(注・介護予防とは、要介護状態となることの予防または要支援状態の軽減もしくは悪化の防止をいう)

さて、「住み慣れた地域ではわかりますが、「地域の実情に応じて」「可能な限り」が、市が推進する事業にも組み込まれています。

重要なのは「まち」で、今後、國の方針に基づく「北上市版総合戦略」及び「人口ビジョン」の策定も組み込まれています。問題なのは「国の方針」です。(つづく)



都鳥源司さん おめでとうございます

2014年度北上市芸術文化功労賞を受賞した都鳥源司さんのお祝い会が3月1日、ホテルイン北上で開催されました。主催は日本共産党北上市委員会と同後援会。

都鳥さんは、市芸術文化協会理事、市民芸術祭運営委員として20年以上つとめ市の芸術文化活動の推進と組織運営に尽力。また、1979年から毎年展示会を開催してきた絵画サークル・美樹会の会長を23年間つとめてきました。今回の受賞はこれらの功績が認められたものです。

主催者挨拶で鈴木健二郎同党委員長・市議は「党後援会会长でもある都鳥源司さんが受賞したことは我がことのように嬉しく名誉なことです。喜

びもあつた反面多くの苦労もあつたと思う。サークルのみなさんの要望の強い市の絵画芸術文化発展のために力をいたさない」と述べました。

また、都鳥さんの地元でもある同鬼柳地区後援会を代表して佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にしてがんばってほしい」と挨拶しました。

お礼の言葉で都鳥源司さんは、「絵は上手も下手もない。思うように自由に描けばよい。私はその手伝いをしてきただけ。絵が描けることの前提は平和であること。一度と戦争してはならない。いじめ問題や今回の川崎市の生徒殺害を見て、情操教育の大切さを強く感じる。86歳になつたがこれからもがんばりたい」と述べました。

参加したサークルの方やかつて同じ職場で働いていた後輩、そして地域、党関係者などから次々都鳥さんをたたえるスピーチや苦労話などが出されました。

決して忘れてはならないと思いました。

お伝えしたいことは山ほどあります。すべてを語るには用紙が何枚あっても足りません。

大島さんの言葉一つひとつに大きな衝撃を受け、沖縄戦について多少持っていた知識は、すべて表面的なものに過ぎなかつたと思い知らされました。



伊藤喜助(97年当時)



首里城の前でパチリ。

◆戦後70年企画 北上市日本共産党に関わって⑦

斎藤龍雄とその周辺・伊藤喜助

で示された沖縄県民の意思を無視して、新基地建設を強行する安倍政権の横暴に怒りの思っています。

炎を燃やしつつ、自分にできること、少しでもやれたらと思っています。

「一度、沖縄に行ってみたいなあ」ふと漏らした私の言葉をきっかけに、「いいねえ。みんなで行こうよ」とトントン拍子に話が進み、女性後援会の企画として実現できたことが、とても嬉しく思っていました。

71年の人生で初めて訪れた沖縄。ツアーリー2日目、沖縄平和ネットワーク所属の大島和典さんのガイドで、ひめゆりの塔→米須海岸→魂魄の塔→平和の礎を巡りました。

71年的人生で初めて訪れた沖縄。ツアーリー2日目、沖縄平和ネットワーク所属の大島和典さんのガイドで、ひめゆりの塔→米須海岸→魂魄の塔→平和の礎を巡りました。

では、私たちに一体何ができるのか。沖縄の現状を広く国民に知らせる事。「NHKや大手メディアが報道したがり、南へ南へと追いつめられていきました。全滅した一家も珍しくなかつたといいます。

「平和の礎」に刻まれた24万人もの犠牲者の名前の陰に、「捕虜の辱めを受けるより自決を」と強要された人々の無念の思いと慟哭があることを、

地主制を撤廃した時戦争で疲弊しきつた農村と農民にどのような形で希望を持たせ、米をはじめとする農作物の生産に従事させるか大きな問題である。

農民は米の強権供出をしいられ、あちこちで供米に反対していた。一般市民は配給米が足らず、豆・ごぶのまぜご飯であった。砂糖、魚肉も少

八重樫奈都子

都鳥さんは、市芸術文化協会理事、市民芸術祭運営委員として20年以上つとめ市の芸術文化活動の推進と組織運営に尽力。また、1979年から毎年展示会を開催してきた絵画サークル・美樹会の会長を23年間つとめてきました。

主催者挨拶で鈴木健二郎同党委員長・市議は「党後援

会会长でもある都鳥源司さんが受賞したことは我がことのよう嬉しく名誉なことです。喜

びもあつた反面多くの苦労もあつたと思う。サークルのみなさんの要望の強い市の絵画芸術文化発展のために力をいたさない」と述べました。

また、都鳥さんの地元でもある同鬼柳地区後援会を代表して佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見たてわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切

にして佐藤四郎さんは「絵を見てわかるとおり都鳥さんの絵はやさしくおだやかで人柄を表わしている。都鳥さんは絵だけでも盆栽や地域の子どもたちにも絵を教え、平和の大切さを語っている。まだまだ元気だと思うが、体を大切